大分市報

毎月1日15日発行

発行所　大分市役所
編集兼発行人
安東　玉彦
印刷所　高木印刷ＫＫ

大分市政だより

毎週日曜日午前七[illegible]から、ラジオ大分で放送されます。この時間は市のお知らせや、皆様方の声が放送されますので家中楽しくおきき下さい。

「小倉博」の前売券を発売

小倉市制六十周年を記念して、今春三月行なわれる小倉博の前売券を只今発売しています。料金は一枚百四十円で、市商工観光課で取扱つていますので希望者はおこし下さい。

写真＝高度約三百メートルの上空から見た・大分市の中心部

第十二回成人式
該当者には案内状

市教育委員会では先般自治委員の方を通じて成人該当者の名簿を作製し、それにもとづいて該当者約一、九〇〇人の方に成人式の案内状をお送りしました。

お手もとにとどくのは、一月五日ごろと思いますが、もし、その頃まで案内状がとどかない方は自治委員さんの所まで申し出てください。なお、成人式は、一月十五日午前十時（受付は午前九時二十分）から荷揚町県体育館で行ないます。

当日は九州大学教授樋口謙太郎先生の記念講演会、東大分青年団の「呼びかけ」などを行ない、成人になつた方にはお祝品と記念品を贈ります。

新年のことば

大分市長　上田　保

あけましておめでとうございます。私たちの大分市は年ごとにというよりは日ごとによくなつています。栄え行く街頭に立つてあの戦後の傷ましい光景を思い出すとこれが同じ大分かと驚くばかりです。

こうした目ざましい発展を羨んで「大分は県庁の所在地だから」「大分は焼けたからだ」などという他所の声もありますが、私はそれよりも全市をあげての情熱と努力が最大の原因だと確信します。この意味で私は大分市民は尊敬すべき大事業を果されたと思い、常々それを感謝し且つ誇りとするものであります。だがこれまでの成功は云わば広い意味での復興でありまして、これからが真の意味での発展であります。そのような発展が出来てこそ戦災という未曾有の不幸を転じて福とする大成功と申されるのであります。

ではその大成功の途は何かというと、それは大分市を中心とする工場群の造成から始まります。具体的に申せば大分、鶴崎間に計画された臨海工場地が大分県工業の重点になつて関係の工場が此処に建ちならぶことであります。それはもう夢ではなくなりました。計画時代から今や実行の時期に踏み込んだのであります。この臨海工場地帯が日本全国のこれまでのどの工場地帯に比べても優つていることは専門家が一様に認めています。殊に今後の輸送船が八万トン十万トンという超大型船が主力になるとき（それは間近かに迫つています）には、大企業にとつてはこの工場地帯は他にかけがえのない素晴しい利点があるのであります。大企業の工場が出来れば必ず中小企業がそれに付随して集まります。その事は同時に商業の発達を呼び起さずにはおきません。

一口に申せば、永い間、農業県だ後進県だといわれていた大分県が商工の世界に乗り出すのであります。それによつて県の経済が（農業を含めて）全般的にこれまでとは違つて飛躍的に上昇することは必至であります。そうした発展の中心地が大分市であるという事は何と喜ばしい限りではありませんか。そこで市としては工場誘致をテコとして市勢の全面的躍進を期すべきは申すまでもありません。県の新農山漁村振興計画と手をつないで、大分市の特殊な都市周辺農業のあり方を長期的に考え双方が互に発展を誘い合うようにしなければなりません。是も今年の大きな課題であります。又国民健康保険の実施も今年の重要な事業と考えていますが、その成功には特に市民皆様の御協力が必要と思われますから何とぞ御理解下さる様お願い致します。

昭和三十四年は大した風水害もなく幸に豊作の収穫で終りました国民経済も堅実に上昇しています誠に喜ばしい新年を迎えました。前記のような楽しい未来を持つ大分市、凄まじい戦災を見事に克服した大分市には、最早や恐れる何ものもありません。

市民の皆様、年と共に新しい希望と勇気をもつて、堅く手をつないで進もうではありませんか。

年頭の御挨拶

大分市議会議長　川上　勘一

市民の皆さん

昭和三十五年の新春を迎えておめでとうございます。

昨年中は幸いに大した災害もなく近年まれに見る豊作であり、経済状勢も好転の方向にあるだけに明るい越年をすることが出来たことと思います。

一年の計は元旦に在りと古人もいつておられますが、皆さんも過去を振り返つて「今年こそはやるぞ」という気概とプランをお樹てになつていることと思います。

おもうに、昨年は地方公共団体の首長、市議会議員の選挙が全国的に行なわれました。私共は皆さんの選良として市議会に席を汚すこととなつた訳でありますが、議員としての責務は、如何にして市民の要望に応えて市政を推進するかということであります。御承知のように、地方団体の財政は窮迫の一途を辿つているに反比例して行政事務量は年々増加しております。従つて、財政の不足を克服して、市民への施策やサービスに万全を期すことは至難なことでありますので、これに対する[illegible]たいと思います。私共は皆さんの世論を基盤として市政を推進して行きたいと思いますので、何卒御協力の程お願いいたします。

我が大分市も終戦後漸次復興し今では小さいながらも、まとまつた都市として他市の方々から賞讃されています。大分駅頭に立つて眺めた美観は、市民の努力と協力の結晶に外ならないと思います。

陸に日豊、豊肥、久大線の分岐点として、西に大分港を有する我が大分市は、交通の要衝であつて地の利に恵まれているといつても過言ではありません。この地の利に人の和を以つてしたならば、大分市の繁栄は期して待つべきものがあります。

さて本年の議員として、私は工場誘致一本で進みたい。大分市政の中心はなんと云つても、大分市是である鉄工業繁栄と市周辺の特異性を生かした農業経営の万途を講じなければ市民の所得は増さないと思います。それには工場を誘致する以外に道はないでしよう。今、県が大分、鶴崎工業地帯の造成事業をやつていますが、これが完成するまでは相当の歳月を要すると思います。従つて私共はこれ[illegible]一日でも早く工場を誘致したい気持で一杯です。「ローマは一日にして成らず」といわれております一大工場群も、大、小の一つ一つの工場が数えられてこそ始めて成り立つているのであります。従つて小さい工場でもよい、市民の一人、一人が火の玉となつて誘致する心構えでやつたならば必ずや実現されると思います。その証拠に、昨年は新光てん菜糖工場、日本トーライト工場、森産業、県酪乳製品工場の誘致に成功したのであります。これは土地所有者の理解ある協力と誘致に関係した方々が愛市の情熱を捧げた結果に外ならないと思います。

工場誘致するについて、敷地買収の問題が難しいのでありますが大分市を発展させるという大乗的な見地に立つて御考慮下さるようお願いいたします。

かくしてこそ始めて大分市が繁栄し、市民の一人、一人の所得が増して来ると思うのであります。

私共は市理事者と相提携して市民の福利増進にまい進する覚悟でありますので、何卒御協力下さるようお願い申上げます。

終りに臨み、皆さんの御多幸を心から祈念し新春の御挨拶といたします。

消防出初式
市中行進など行なう

大分消防署では、恒例の消防出初式を一月六日行ないます。

当日は、午前八時から消防団員約八百名、消防自動車、手びきポンプ車、小型ポンプ車など二十六台が出動して大市中行進（駅前－中央通－昭和通－県庁グラウンド）を行なつた後、荷揚町県庁グラウンドで機械器具と服装の総点検や県庁前の堀で消防ポンプの水勢試験を行なうことになつています。

またこの後、荷揚町小学校で、消防関係の永年勤続者百六名、特別功績者一名の表彰式と退団者への感謝状贈呈式が行なわれることになつています。

なお当日午前七時次の方法でサイレンの吹鳴をいたしますので予めご了承下さい。

吹鳴方法＝十秒の間をおいて三十秒づつ三回吹鳴

寄付のお礼

市社会福祉協議会は次の方々から香典返しにかえて金一封のご寄付をいただきました。ご芳志のほど厚くお礼申し上げます。

米本ミツノ氏　八幡大久保五組
田北文化服装学院殿　南新地
村上源助氏　浜町南一組
衛藤久市氏　東京都世田谷区
岩久ツナ氏　[illegible]東
木本高夫氏　南生石町
矢野峯生氏　本町通り五丁目
平山ハナ氏　荷揚南大手通り

なおこのほか、岩久ツナ氏より故健次氏の忌明にあたり、児童養護施設、青松園（春日公園内）に多額のご寄付をいただきました。併せて厚くお礼申し上げます。

“承り箱”の御利用を
－大分警察署－

大分警察署では、市民の皆様の警察に対するご意見とご希望を、できるだけたくさんいただき、少しでもこれにお応えしようと一昨年の九月から、市内の次の十一ケ所に「承り箱」を設置しました。ところが最近ではこの「承り箱」を利用する方が少なく皆様の声を広くきくことができません。そこで今後は大いにこの「承り箱」を利用して下さいますようお願いします。「承り箱」の設置場所は次のとおりですのでどなたも気軽にこれを利用し、警察に対するご意見やご希望をどしどしお寄せ下さい。

◎塩九升東一組（古城香様方）◎富岡三組（渋谷実様方）◎中津留七組（橋本儀三郎様方）◎中島九条三丁目（日本精電工業社方）◎新川西五組（山崎澄天様方）◎勢家本町九組（後藤熊一様方）◎王子町二丁目（矢野初治様方）◎西生石町中六組（徳丸白人様方）◎堀川町二組（荒巻フミ様方）◎竹町五丁目（勉強堂方）◎三ケ田町九組（首藤定様方）◎大分バス本社待合室

国民健康保険シリーズ

国民健康保険の資格届出について

国民健康保険の被保険者となる人については、さきに市報で大要をご説明申し上げましたが、今回はこの資格とその届出についてご説明いたします。

国民健康保険の被保険者は市内に住所のある人で、他の健康保険や共済組合、日雇健康保険等に入つている人、及び生活扶助を受けている人、又は修学のため他の市町村から大分市に来ている人以外の人は全部被保険者になります。

大分市が国民健康保険を始めると前述のように他の健康保険等に加入していない人は、本人の考え方がどうありましようとも強制的に被保険者としての義務が生れ、又権利ができます。従つて被保険者の資格取得届を出さなくても被保険者となります。又届書を出さないと今後、法律の規定によつて罰則が適用されるようなことも起りますので、特にご留意をお願いします。

先般国民健康保険基礎調査表のご提出をお願いしましたが市ではこの内容を調査しこれにより国民健康保険の資格ができると考えられる方々について資格取得届を作成しそれぞれのご家庭で確認をして頂くことにいたしました。先般提出洩れの方や、その後異動があつた方は、今回は必ずご提出をお願いします。

国民健康保険における世帯の取扱い

国民健康保険では保険料（税）や医者にかかつたときの一部負担金（医療費の半額）は世帯主が支払うことになりますので次のような取扱いをします。

1、世帯主は主としてその世帯の生計を維持し、その世帯の世話をする者となつています。従つて名目上世帯主となつていても実際には子供から扶養されていると認められるときは、その子供が世帯主となります。

2、同一世帯でも収入が別々にあり、他の健康保険の取扱いや所得税の扶養控除等から考えて別世帯とすることが適当であると認められるものは別世帯とします。例えば、会社員である世帯主が会社で健康保険に加入しており、無職である妻子を扶養しているような家庭で、世帯主の父が農業を営み母と弟が無職である場合は、この父母弟は国民健康保険の被保険者になりますこのとき父母弟は農業の収入で生計を営んでいると認められる状況にある場合は、別世帯とします。

3、同居人、使用人で別個の生活をしていると認められる者は別の世帯として新しい世帯を起すことになります。

4、学生で他の市町村から市内に来ている人は、大分市の被保険者とならないから同居のオイやメイなどで他の市町村から来て学校に通学している人は同居の世帯には入れません。

5、学校に在学するため、大分市の親元をはなれて他の市町村に行つている人は、親元の世帯の被保険者となります。この場合別個に被保険者証を出しますから、その届を別に出していただくことになります。（国民健康保険法第一一六条該当届）

6、世帯主が社会保険等の被保険者であるが、その世帯内に国民健康保険の被保険者になる人（世帯主の被扶養者と認められない人）がある場合は世帯主に保険料（税）がかかります。この場合保険料（税）の所得割は世帯の人数であん分します。

第4回大分市定例市議会おわる
追加更正予算など23議案を可決

第四回大分市定例市議会は去る十四日午前十時三十分から会期三日間で開催されました。

開会第一日目は、各常任委員長から閉会中審査として付託された陳情、請願五件の経過並びに結果の報告がありこれを承認しましたこのあと第四回大分市歳入歳出追加更正予算など議案十三件、陳情請願十七件が一括上程され、これに対する上田市長の提案理由の説明後、土地買収に関する市長専決処分の報告がありこれを承認しました。

第二日目は各常任委員会が開かれ、十六日の最終日には午前十一時三十分から本会議が再開され、各常任委員長の報告があり、これを討論採決した後、追加議案十一件の逐条審議を行ないました。ついで各議員から議題外質問があり午後六時議会を閉会しました。開会中可決された主な議題は次のとおりです。

◎消防法の一部改正に伴う「大分市危険物取締条例等を廃止する条例について」

◎今津留元海軍航空隊跡地の「公営住宅の建設（第一種三十戸、第二種十戸）について」

◎大分空港滑走路周辺土地整備事業の施行に伴う「市有地と交換する国有地の面積変更について」

◎公営住宅の建設に伴う「工事請負契約の締結について」

◎水道事業費充当のための「市債借入及び償還方法について」

◎長浜小学校の敷地を取得するためその換地として舞鶴高校敷地の「土地買収について」

◎滝尾小学校の敷地とするための土地の「寄付受諾について」

◎滝尾小学校の「学校建設位置の変更について」

◎市営共同墓地（永興丸山）の設置と、このための土地買収と特別会計の設置について

◎昭和三十四年度大分市一般会計歳入歳出追加更正予算（第四回）等について

▼……一般会計の歳入歳出追加更正予算額は二千百七十一万七百六十七円で歳入の主なものは、市税四百二十五万七百三十円、国庫支出金千百七十一万八千二百五円、繰入金三百五十万円、雑収入二百八万九千十五円その他で才出の主なものは役所費七百八十二万六千四百三十四円、土木費七百十万九千五百一円、教育費三百七十三万五千百五十一円、社会及び労働施設費三百七十一万七千三百五十七円となっています。この結果、大分市の一般会計の歳入歳出総予算額は八億二千五百九万二千九百六十八円となつたわけです。

また特別会計では、青果市場費十一万一千八百二十九円、と畜場費三万三千二百九十円、大分刑務所移転事業費三百五十万円、水道事業会計一千二十四万八千六百円がそれぞれ追加更正されました。

なお昭和三十三年度大分市歳入歳出決算書は、決算特別委員会を設置して閉会中審査することに決定しました。

気軽に相談を
市民相談係

市役所に市民相談係が発足してちようど半年になります。これまでいろいろな相談に応じてきましたがこれからも気軽にご利用下さい。みなさんの手足となつてご相談に応じます。

主な相談内容は次の通りです。

（一）市役所内の事務処理

①庁内の案内
あなたの用件を処理する係がわからないときなどお尋ね下さい。

②代筆
身体障害者やおとしより、字の書けない方には転入、転出、出生届、生活保護申請書など簡単な書類は代つて書いてさしあげます。

③市に対するお気付きの点
市に対する苦情、意見、要望事項などを承ります。

④諸届の記載例を準備してありますのでご利用下さい。

（二）家庭問題について
いろいろな家庭問題について相談を承り、情況によつては関係官公署に連絡します。

手芸技術の無料講習会

大分県内職公共職業補導所（市内新川）では本年一月中旬から三月末日まで毎週三回、内職むきのアフガン編、かぎ編、フィレ・レース、スエーデン刺しゆうなどの手芸技術を無料でお教えします。希望者は人員に制限がありますので早目に電話（三五三九番）又は葉書で同所あてお申し込み下さい（直接おいで下さつても結構です）お申し込みの際は、必ず住所、氏名、希望種目をお知らせ下さい。

小学校
入学通知書を送付
就学困難な子供は診断書を

市教育委員会学校教育課では、本年四月小学校へ入学する児童（昭和二十八年四月二日から二十九年四月一日までに出生した者）の入学通知書を、一月十五日頃までに皆様方のお手もとに届くよう各小学校を通じて送付いたしました。これは昨年十一月末現在の住民登録をもとにして調査したものですが、万一調査もれがあつたり、その後の異動で入学通知書が届かなかつた方は、その校区の小学校に至急申し出て下さい。また病弱や発育不全、その他やむを得ない理由で就学困難な児童は、市教育委員会が指定した次の医師の診断書を添え就学義務の猶予又は免除の申請書を教育委員会に提出して下さい。申請用紙は学校教育課で差し上げます。

指定医師氏名

内科小児科	仲田史郎	荷揚町
整形外科	上田三郎	北新町
外科	織部利雄	中島二条
眼科	大坪建三	唐人町
耳鼻咽喉科	中山広男	荷揚町

なお公立幼稚園の園児の入園については二月一日から二十日までの間に父兄が入園希望の幼稚園に申し出て下さい。

第四回園芸共進会
見事な出品物

第四回大分市園芸共進会は去る十二月二十一日から三日間、荷揚町県教育会館で行なわれました。

この共進会には、市内の農家が丹精こめて作つた野菜、果物（ミカン類）花などの逸品約五百点が出品されました。また会場には農機具や農薬の展示も行なわれたほか、農事相談所も開設され人気を呼びました。出品物は閉会中即売されましたが、お正月準備のためミカンや野菜は飛ぶような売れゆきを示しました。

（写真＝園芸共進会）

「特産品相談所」を開設
専門委員を置く

大分市ではかねてからすぐれた特産品のないことを、かこつてきましたが、最近郷土色が豊かで、しかも他市に自慢できる特産品を育成して、本市物産の声価を内外に高めたいという要望がとみに盛り上つてきました。そこでこの度市商工観光課内に「大分市特産品相談所（所長生野祥雲斉氏）」を設け、新春早々発足することになりました。

この相談所は本市で特産品の製作を志している人や、現在、試作中の人々にアイデアを提供したり或はまた、意匠、技術及び市場などについて、いつでも無料で相談に応ずることになつています。

相談所には、特産品の生産に関する各分野の専門委員（非常勤）がおり、それぞれの権威者がこの相談所を通じて、皆様のご相談や質問を受けることになつています特産品の製作を志す方々は、ご遠慮なく同相談所をご利用下さい。

なお、同相談所の専門委員には次の方々がなられました。その他詳しいことは、市商工観光課内事務局にお問合せ下さい。

専門委員（敬称略、順序不同）

生野祥雲斉（工芸家）、武藤完一（元大分大学教授）、木村静雄（大分県物産観光館々長）、山本民男（KK中島木工所社長）古代光賛（別府産業工芸試験所々長）松井穂青（松栄家菓子店々主）川口俊雄（大分県工業試験場技師）広石安子（大分ドレスメーカー女学院々長）釘宮久美（大分大学学芸学部講師）須崎哲一（KKトキハ百貨店第二営業部次長）

「成人の日」のお祝いは電報で

一月十五日は成人の日です。今年成人式を迎える若人の皆さんの前途を祝福するとともに、ご両親方にもおよろこびの言葉を申し上げるために、大分電報局ではつぎの文例を用意して、「成人の日」のおよろこび電報のご利用をお待ちしております。

料金は、十四日までにお出しのものは、十字まで三十円、五字増すごとに七円増しとなつています。なお十五日（当日）になれば十字まで六十円、五字増すごとに十円増しとなりますから、なるべく早目にご利用ください。

略号	文例
セヨテ	ご成人おめでとうございます。
セネイ	ご令息様のご成人をお喜び申し上げます。
セクウ	お嬢様のご成人をお喜び申し上げます。
セフツ	ご成人おめでとう、これからです、しつかりおやりなさい。

くわしいことは無料電話七六二〇番へ、お問合せ下さい。

（大分電報局）

第四次
自衛官を募集

防衛庁では只今、陸、海、空の第四次自衛官を募集しています。応募資格は日本の国籍を有する心身共に強健な男子で、本年三月一日現在で十八才以上二十五才未満の中学校卒業程度以上の学力を有する者となつています。志願票の受付は一月十四日まで。その他詳しいことは、市総務課庶務係までお問合せ下さい。

お知らせ

荷揚南地区元自治委員平山順太郎氏の死亡に伴う同地区後任自治委員は野上量平氏（荷揚南五組西）と決まりましたのでお知らせいたします。

大分市民生児童委員きまる
委員総数119名

去る十二月一日、民生（児童）委員の一斉改選が行なわれ新しく一一九名の方々が民生（児童）委員となられました。こんどの改選で始めて委員となられた方は四十五名で、その他の七十四名は従前どおり委員を継続し社会福祉事業の第一線でご活躍を願うことになりました。

現在大分市には、一千余の被保護家庭やこれに準ずる一千五百余の恵まれない家庭がありますが民生（児童）委員は、これら不幸な家庭の救済、更生問題等に当るほか、身体障害者や犯罪者の更正指導、或は次代を背負う児童の健全育成やその福祉増進等の重要問題を処理し或は解決してゆくのであります。

このように民生委員各位のご活動に期待するところまことに大なるものがありますが、民生活動全般については次号に詳しく掲載することといたします。

なお今回民生（児童）委員になられた方々の氏名と担当区域は次のとおりです。担当地区と委員の住所がちがう場合は（ ）で示します。（敬称略）

金池校区　金池町　幸ノブ、金池南の東　池辺武夫　金池南の西　藤原仲治、顕徳寺町　山田圭子、東新町北・南　甲斐省道（東新町南）、米屋町　河野栄市、南新町・天神町・駅前　武井綾子（天神町）、稲荷町・長池町河野秀子（稲荷町）、上野北吉野サダカ、上野南　田崎林六　六坊南・上野東　荒巻シン（上野東）六坊北・元町　佐藤悦男（六坊北）、六坊東　田島春男

長浜校区　長浜西　中村　勇、長浜東　春山ハル、長浜南　釘宮謙司、塩九升町　江藤レツ、坊ケ小路　伊藤覚治、舞鶴町　松山遠多

荷揚校区　本町　津高　宝、荷揚北・西　吉川居子（荷揚北）、荷揚南・南新地　佐藤信一（荷揚南）、城崎町　永野サオ、紺屋町・堀川町　平田泰廷（紺屋町）、北新町　財前良益、中央竹町　永松健一（竹町）、於北町・若草　佐藤トク（於北町）

中島校区　中島　辻　富輔、中島西　塚本　真、船頭町　三浦文義、新川西　福島治代、新川東の南　岩久ツナ（新川東）、新川東の北　三沢歓天（新川東）、新芦崎・村上高一、浜町東　菊屋保、浜町南　矢野六七吉、浜町北　工藤愛作

住吉校区　中島東　川野　巌、中島北　首藤勇、新中島東　石川シマエ、新中島西・弁天　岩中キミヨ（新中島西）、新中島南　統　信一

春日校区　勢家本町　森永セツ子　東春日町（未定）、南春日町　長田トク、西春日町　植木　勝　春日町、勢家町　後藤栄吉（春日町）、王子町一・二丁目　浅井朝喜（王子町一丁目）、王子町三丁目　木本清八、南王子一二丁目　木本右之助（南王子二丁目）、南王子三丁目　阿部演信　東生石　直野豊喜、西生石　渡辺文子、南生石の東・西　坂本阿佐子（南生石）、浜の市　甲斐艶子、大分港　二宮新六

大道校区　西新町　佐藤金馬、田室町　柴田千代、草場町　江熊之、大道一丁目　久野　茂、大道二丁目　飯田三千男、大道三丁目、東大道　安辺　暁（大道三丁目）、大道四丁目　阿部寛、大道五丁目　沢井シズ、大道六丁目　丸山嘉七、志手、椎迫　園田仁四郎（志手）、新大道　森田ミユキ

南大分校区　羽屋・南大平寺　西村政五郎（南大平寺）、庄の原　阿南泰弘、竹の上・深河内　若杉　巧（竹の上）、上村・尼ケ瀬　安長利子（上村）、畑中・豊饒　秦　実（畑中）、明磧　佐藤トキエ、三ケ田町　後藤美令子、古国府　永山昭州、永興　板山サカエ、旭町　猪原正人、田中・上田町　河野章生（田中）

八幡校区　上八幡　杉崎如子、下八幡　後藤丁雄、東八幡　塩月末喜、金谷迫　佐藤定男、大久保　小松茂樹、上白木　藤田勝義、下白木　安部秀山、御幸　川野忠子、田の浦　伊藤太作、机張原　藤田八十吉

滝尾校区　曲　首藤雷彦、宮岡　佐藤歓蔵、津守東　大城甚平、津守西　松浪サヨ子、片島　首藤喜寿、米良　御手洗春木、羽田　秋月甚五郎、南下郡　関スミ、北下郡　野崎秀則

東大分校区　牧　佐藤邦光、東原　佐藤　東、東萩原　末田ハルカ　中萩原　田北冬子、西萩原　渡辺英蔵、白滝　佐藤鉄蔵（牧）

津留校区　花津留　分藤健平、今津留・大津町　三重野万治（今津留）、中津留　多田忠彦、岩田町一丁目　大塚元一、岩田町二・三丁目　河野喜実（岩田町三丁目）、花津留新町　那波安子

日岡校区　新貝　神田耕一、高松東　塩月庫喜、西原　敗　敬士、向原　牧　孫一、鼻高松・新高松東　清田悦子（新高松東）、新高松西　宇藤常喜

桃園校区　高城・高城東　筒井延平（高城）、仲西・岡　池辺友平（仲西）、寺崎・上・千才　香泉道治（千才）、三川上・下　香泉寿山（三川）

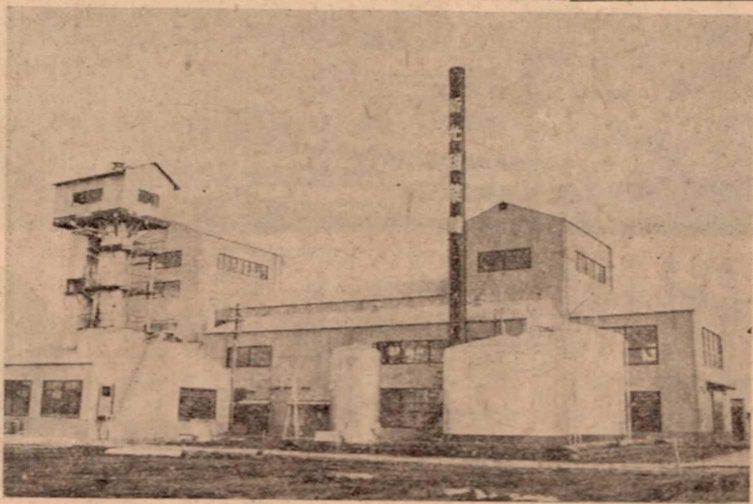
いよいよ操業を開始
新光てん菜糖株式会社（羽屋）

新光てん菜糖株式会社（本社大阪、社長米谷甚三郎氏）大分事業所の工場の火入れ式は十二月十二日、政財界や農業団体関係者約二百五十名が出席して盛大に行なわれました。同社は県がてん菜栽培の普及に乗り出すとともに大分市が誘致に成功した会社で、去る六月十六日南大分羽屋で起工式を行い、建設を急いでいたもので、この火入れ式によりいよいよ本格的操業が開始されるわけです。

こんど完成した工場は第一期分として建設されたもので、守衛室、秤量室、修理室、用品倉庫、工場、石灰窯室、パルプ倉庫等が完成しました。いまのところ機械のテスト期間としてその性能や耐久力などの試験をしていますが、一月早々から本格的な操業に入り、一日一〇〇トンのてん菜を処理することになっています。

第二期工事は四月以降に着工する予定で、この計画によると工場本館、パルプ動力関係工場、倉庫を建設し、一日六〇〇トンの処理能力がある工場にすることになつています。さらに同社では県内のてん菜栽培の普及とにらみあわせて一日一、二〇〇トンの処理工場に拡張する計画もたてています。

なお、同工場はてん菜糖を作る工程とパルプ（しぼりかす）を作る工程の二つに分れております。てん菜糖は農家から運ばれたてん菜を細断し、それに水を加えてしぼり、そのしぼり液に石灰や炭酸ガスを加えて不純物をとりのぞき加熱して作ります。また、しぼりかすは圧縮して乾燥し、家畜の飼料に利用されます。


（写真＝新光てん菜糖大分工場）

金刀比羅宮初詣と讃岐観光の会員募集

◎日程　二月一日－四日
◎募集人員　三〇〇名
◎会費　三、三〇〇円
◎申込先　大分合同新聞社、関西汽船大分代理店
◎締切　一月二十五日まで申込書に会費を添えてお申込み下さい。